UX “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

リヤ スカート　取付要領書

品番 D2641-58810-XX
品番 MSD43-76001/2-XX

設定型式:MZA#1#/KMA10　　設定グレード:除く F-SPORT

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、**リヤスカート**の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■取り付ける前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
■エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
■走行後の純正マフラーは大変高温になっています。冷めないまま作業を行なった場合、火傷などの重大な危険性があります。必ず純正マフラーが完全に冷めたことを確認してから作業を行なって下さい。
■車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際、間違えない様に配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
■本書で指示した部品以外は、取り外さない様に注意して下さい。
■商品の仮合せ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施下さい。
■**リヤスカート**を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
■エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、**必ず脱脂して下さい。**
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
■両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**
(**PACプライマーK500**を本品に添付)
重要 プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で１０分間以上放置し乾燥させて下さい。**
重要■両面テープは、外気温が**１５℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
■両面テープのプライマーは、特に白色塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
■**ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**
（必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。）ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を充分に発揮できない場合があります。
ボディーコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行なって下さい。
重要■両面テープの圧着を十分に行なって下さい。49N(5kgf)以上
重要■**リヤスカート**固定用の**ビス本締めは両面テープ貼り付け後３時間以上放置後**行なって下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

■**リヤスカート**が、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
■マフラーエクステンションが、車両に確実に取り付けされているか点検して下さい。
■両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
■取り付け完了後、**リヤスカート**及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
■取り付け完了後、**最低３時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーと**リヤスカート**との間に隙間が発生する恐れがあります。)
■取り付け完了後、マフラーエクステンションの固定部分が指定トルクで締まっているか再度点検して下さい。

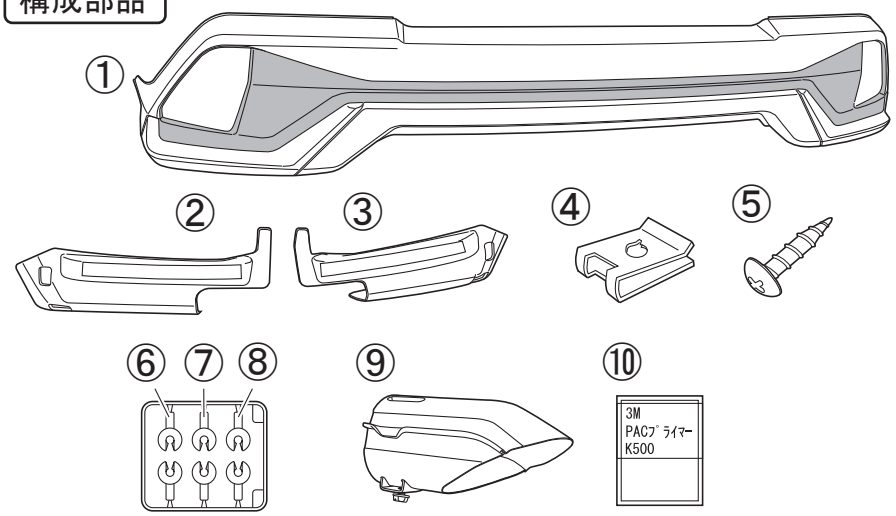
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

UX “F SPORT PARTS (MODELLISTA)”

リヤ スカート

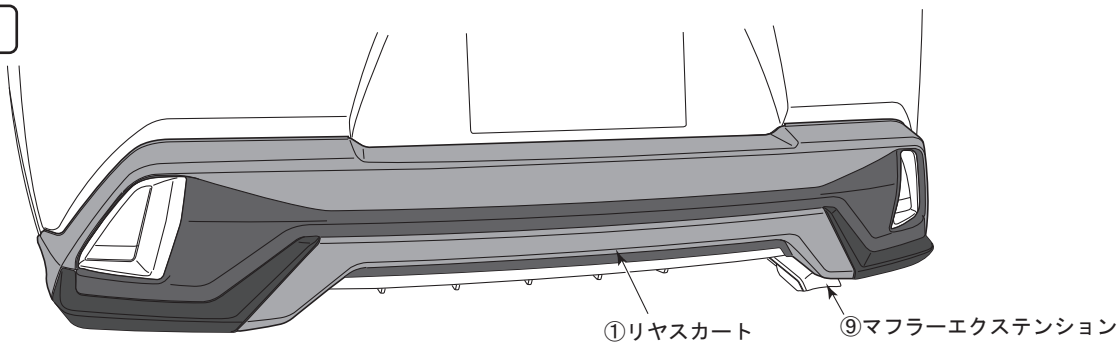
（品番：D2641-58810-XX）
（品番：MSD43-76001/2-XX）

構成部品



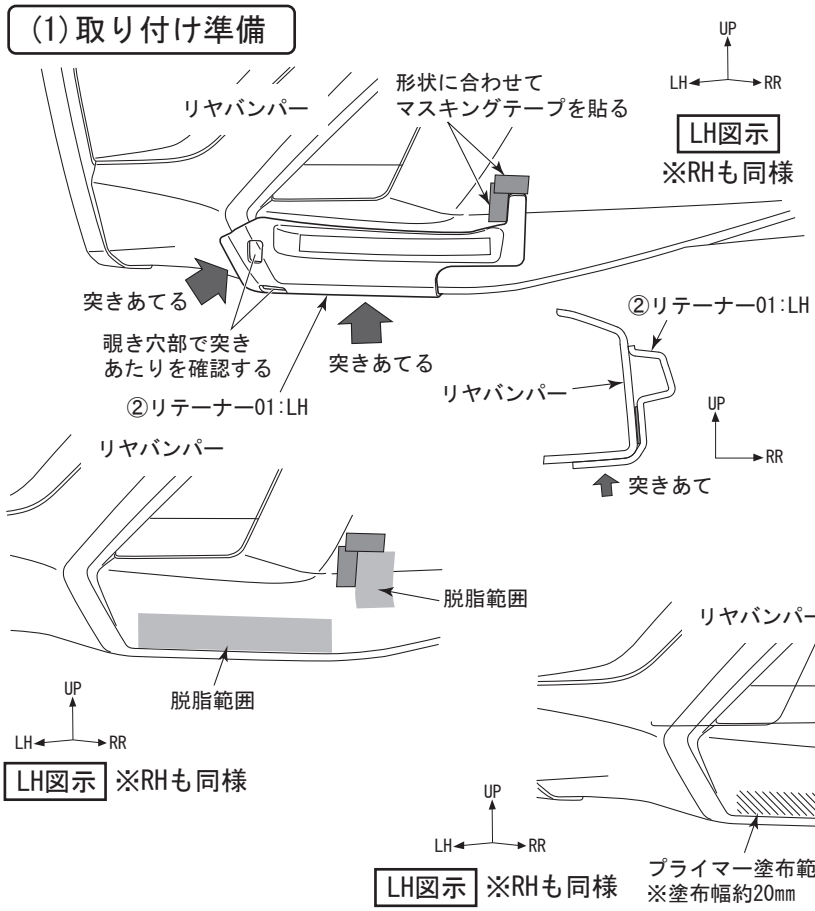
No.	品　　名	個数
①	リヤスカート	1
②	リテーナー01:LH	1
③	リテーナー01:RH	1
④	JナットM5	6
⑤	トラスタッピングスクリューM5×16	6
⑥	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑦	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑧	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑨	マフラーエクステンション	1
⑩	PACプライマーK500	1

取り付け概要



取　付　手　順

(1)取り付け準備

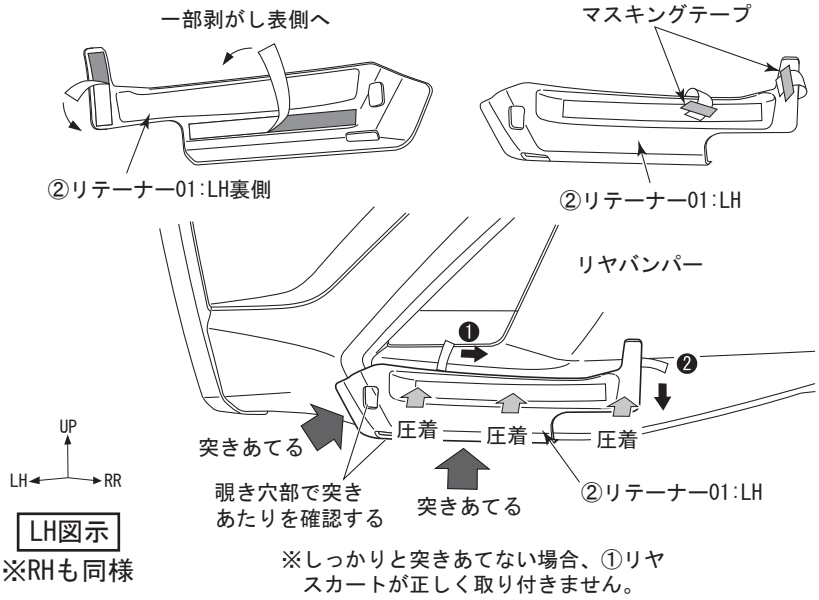


1. ②リテーナー01:LHをリヤバンパー取付部へ図示の要領であてがい、取付位置及び両面テープのプライマー塗布範囲を確認する。
2. 一旦、②リテーナー01:LHを取り外し、左図 ▭ 部を脱脂する。
3. テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PACプライマーK500を塗布する。
4. マスキングテープを剥がす。

アドバイス

- ⑩**PACプライマーK500**は①リヤスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑩**PACプライマーK500**塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

(2)取り付け準備



LH図示
※RHも同様

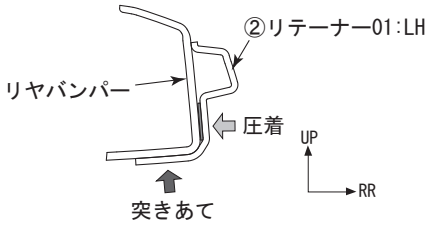
※しっかりと突きあてない場合、①リヤスカートが正しく取り付きません。

1. ②リテーナー01:LH裏側の両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. ②リテーナー01:LHを図示部を突きあててあてがい、両面テープ離型紙を図示 ❶❷ の順に引き抜きながら圧着する。

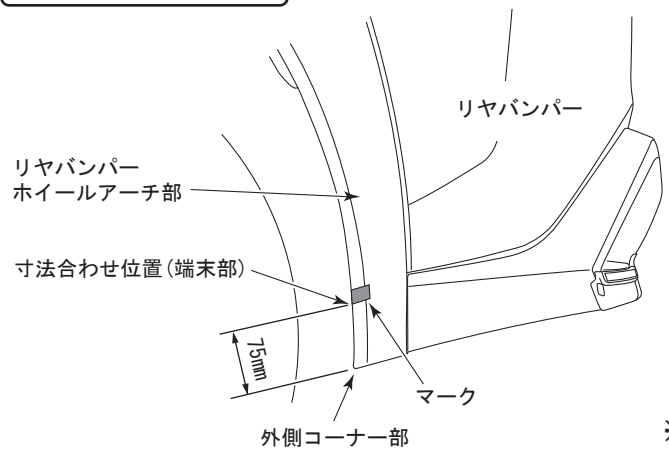
アドバイス

・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

3. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、**再圧着**する。



(3)取り付け準備



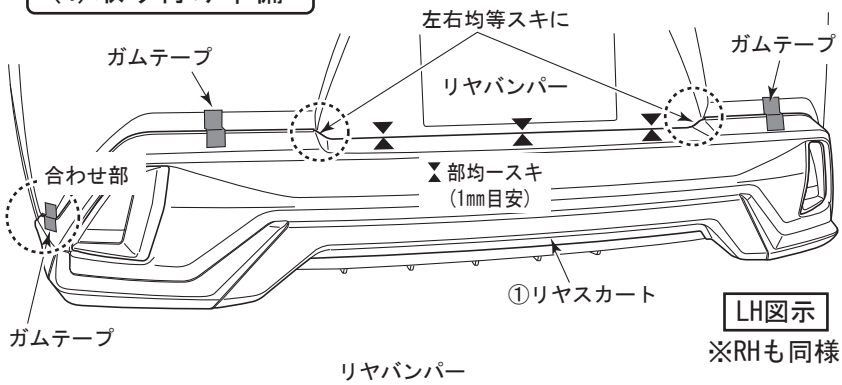
LH図示
※RHも同様

1. 左図参考寸法に従い、リヤバンパーホイールアーチ部にマスキングテープでマークする。　(左右各１カ所　計2カ所)

アドバイス

・左図寸法を参考に、左右のバランスを考慮して合わせ、マークして下さい。

(4)取り付け準備



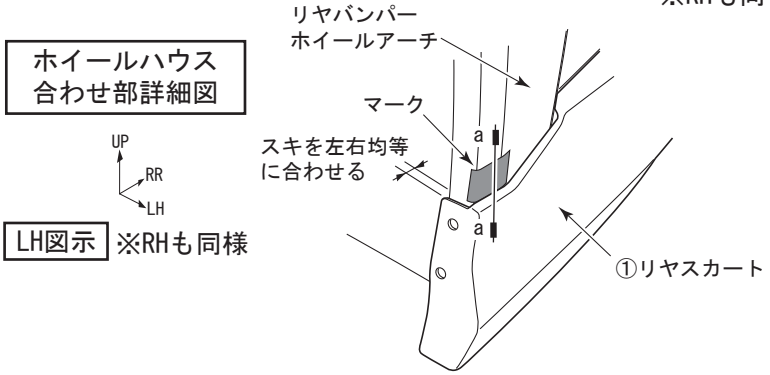
LH図示
※RHも同様

1. ①リヤスカートをリヤバンパーホイールアーチ部のマークに合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

アドバイス

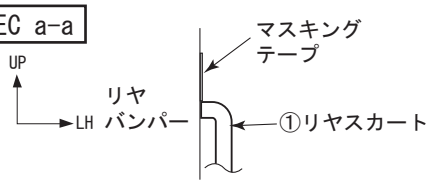
・位置決めの際、各部のスキ管理に注意して下さい。

ホイールハウス合わせ部詳細図



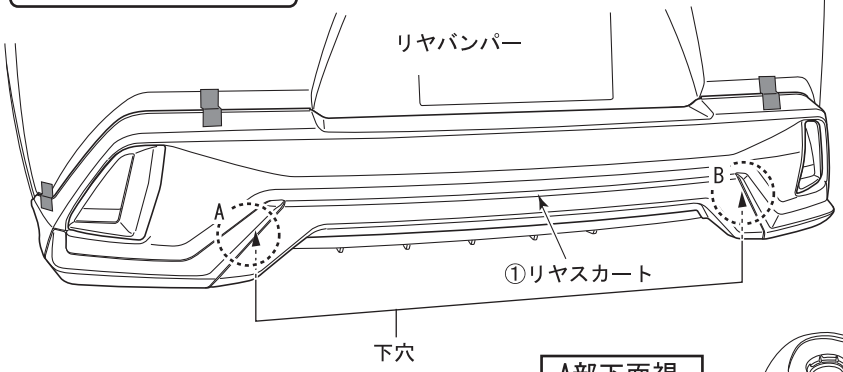
LH図示 ※RHも同様

SEC a-a

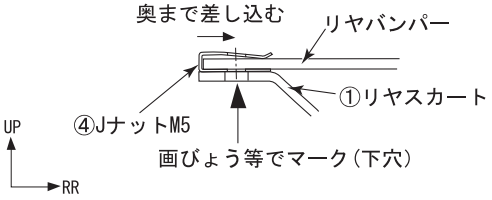


(5)取り付け準備

1. ①リヤスカート下面図示A,B部の穴中心に合わせ、リヤバンパーへ④JナットM5を取り付ける。　（左右各1カ所　計2カ所）
2. ④JナットM5の穴中心にケガキ針又は、画びょう等で下穴をあける。
（左右各1カ所　計2カ所）



Jナット取付断面図

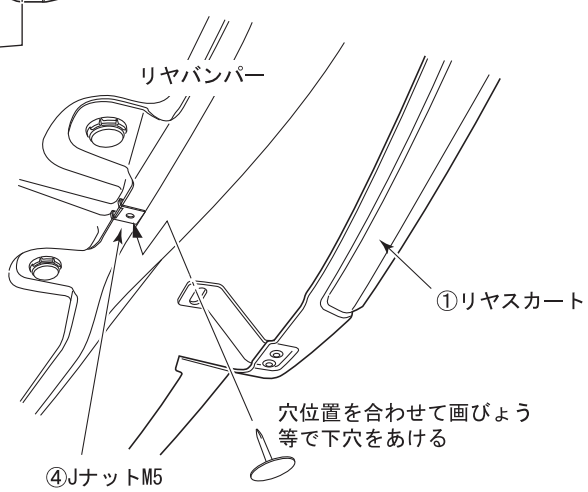


A部下面視

LH図示

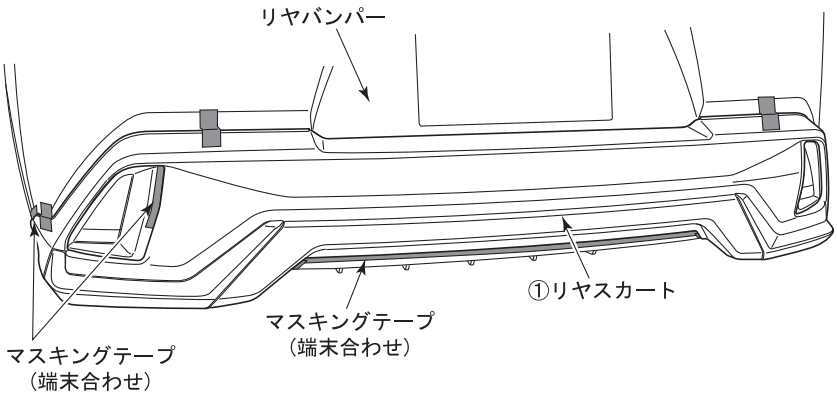
※RH(B部)も同様

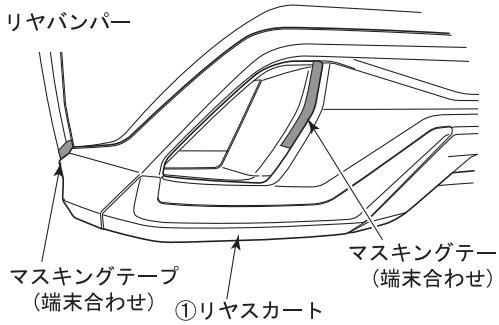




(6)取り付け準備

1. プライマー塗布の為に、図示①リヤスカート端末に合わせてマスキングテープでマスキングする。
2. 一旦①リヤスカートを取り外し、図示リヤバンパー塗装部端末をマスキングテープでマスキングする。

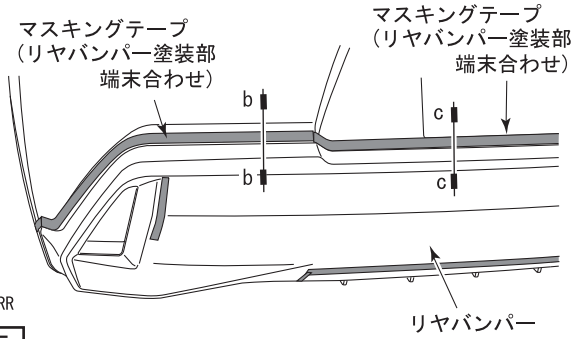




LH図示

※RHも同様

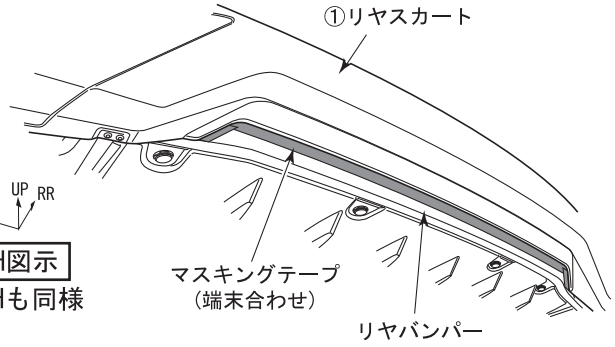
一旦①リヤスカートを
取り外す





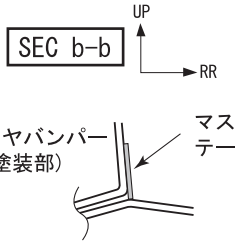
LH図示

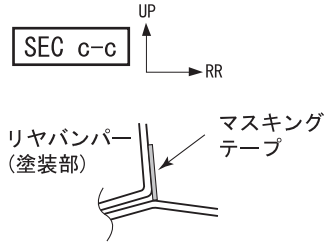
※RHも同様



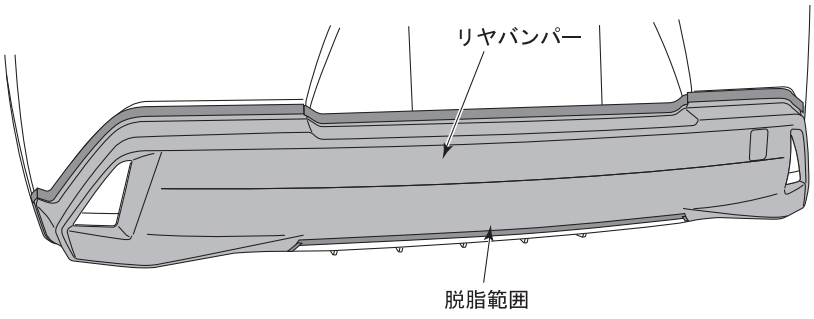
LH図示

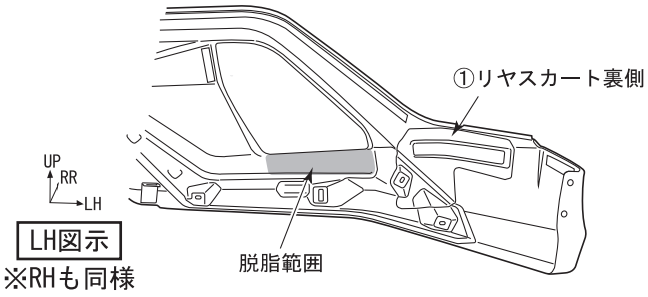
※RHも同様





(7)取り付け準備

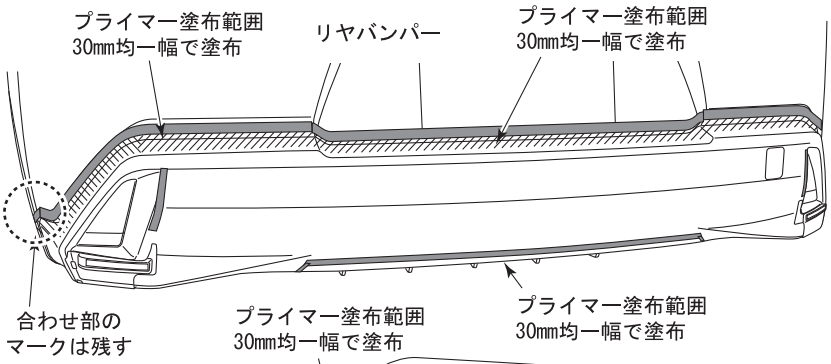


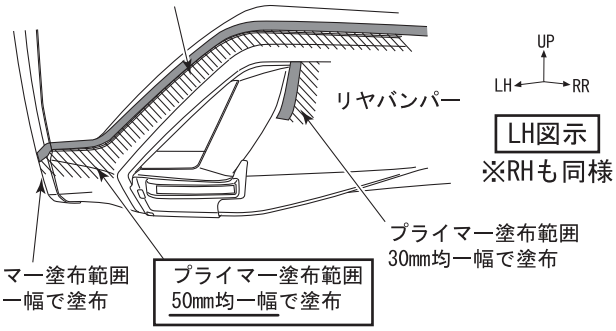


LH図示
※RHも同様

1. 左図 ▭ 部を脱脂する。

(8)取り付け準備



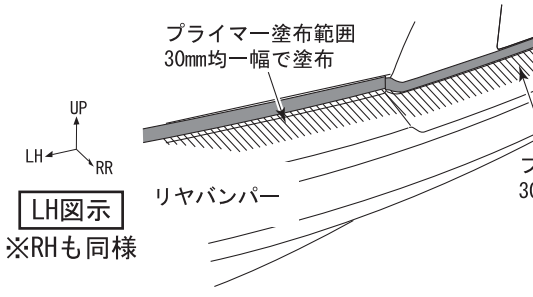


LH図示
※RHも同様

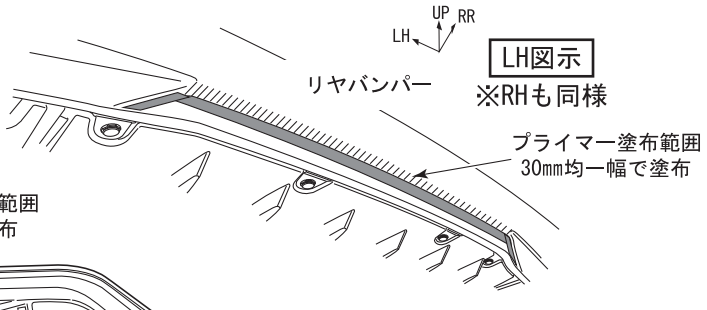
1. リヤバンパーの両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PACプライマーK500を塗布する。
2. ①リヤスカート裏側の両面テープ貼り付け部（左図斜線部）に⑩PACプライマーK500を塗布する。
3. ⑩PACプライマーK500塗布後、マーク以外のマスキングテープは剥がして下さい。

アドバイス

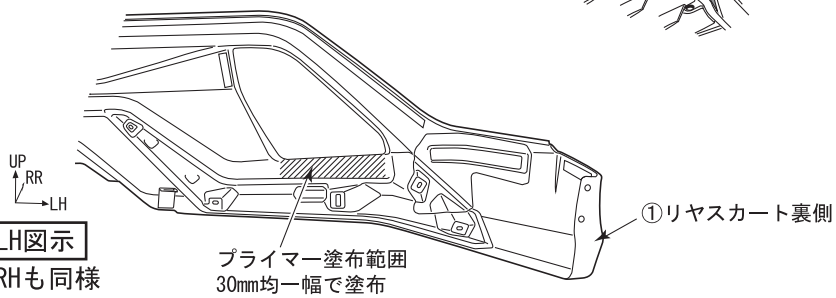
- **⑩PACプライマーK500**は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- **⑩PACプライマーK500塗布後**は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。
- ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部を塗装用コンパウンドで除去して下さい。



LH図示
※RHも同様

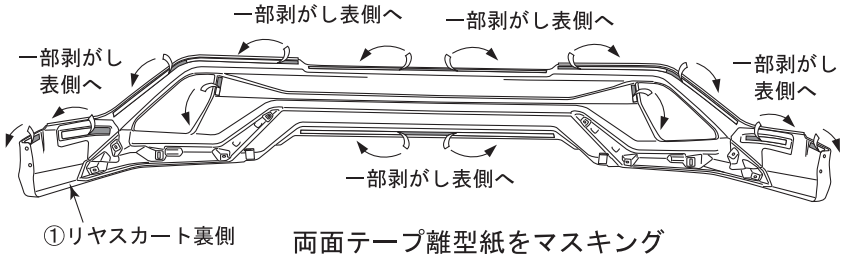


LH図示
※RHも同様

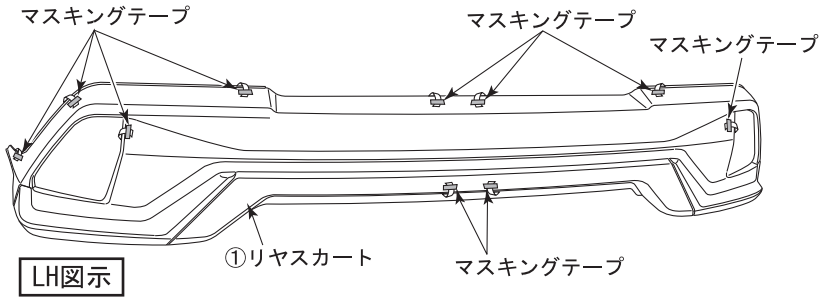


LH図示
※RHも同様

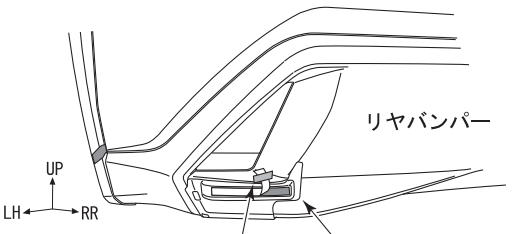
(9)取り付け準備



両面テープ離型紙をマスキングテープで表側に貼り付ける



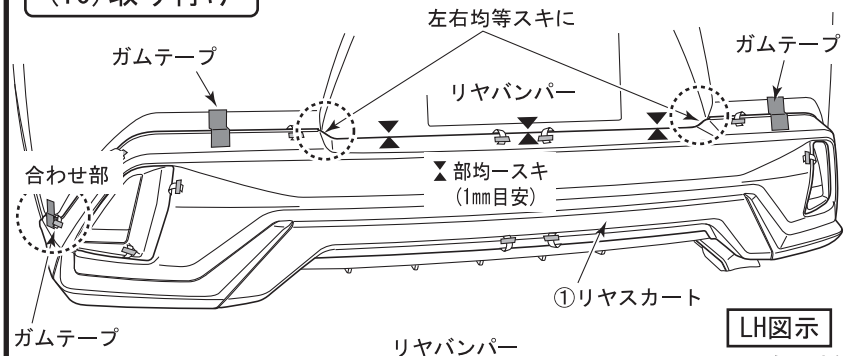
LH図示
※RHも同様



LH図示　マスキングテープ　②リテーナー01:LH
※RHも同様

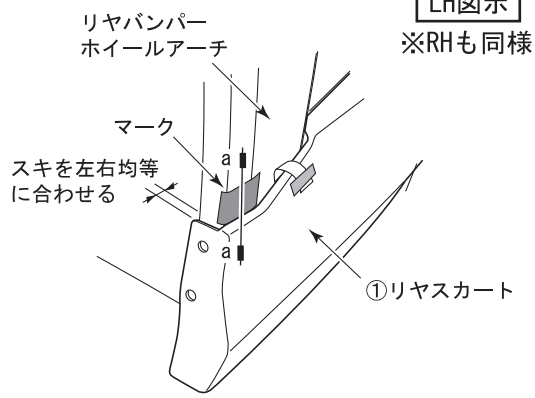
1. ①リヤスカートの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。
2. リヤバンパーへ取り付けた②リテーナー01:LHの両面テープ離型紙を一部剥がし、リヤバンパーに折り返してマスキングテープで貼り付ける。

(10)取り付け



LH図示
※RHも同様

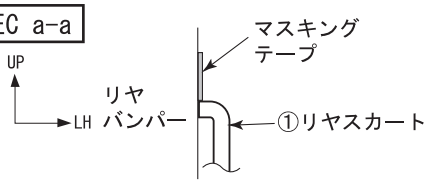
ホイールハウス
合わせ部詳細図





LH図示 ※RHも同様

SEC a-a

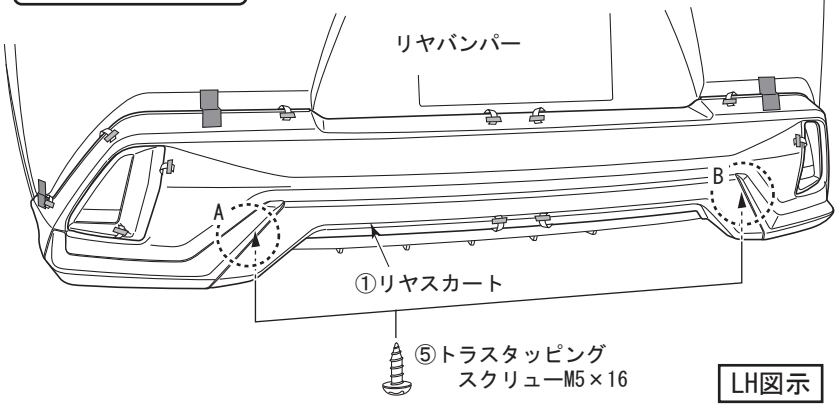


1. ①リヤスカートをリヤバンパーホイールアーチ部のマークに合わせて仮あてをし、ガムテープで仮固定する。

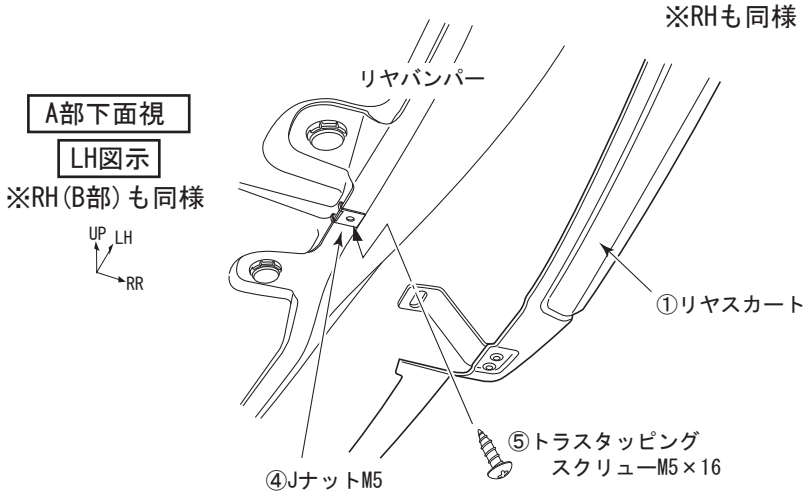
アドバイス

・位置決めの際、各部のスキ管理に注意して下さい。

(11)取り付け



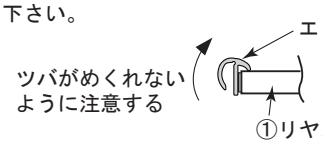
LH図示
※RHも同様

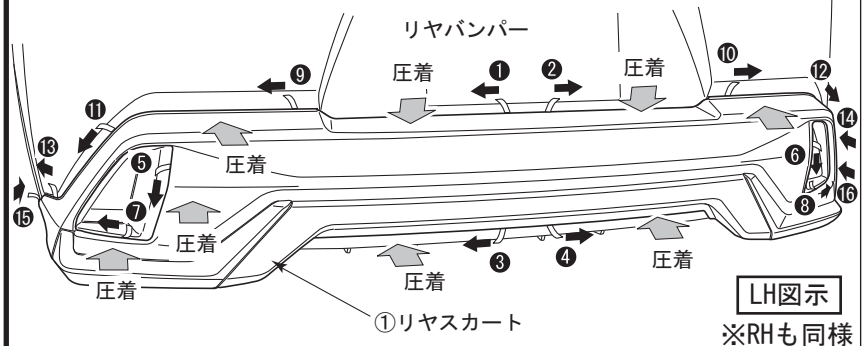


1. ①リヤスカート下面、左図示A,B部を⑤トラスタッピングスクリューM5×16で仮固定する。　(左右各1カ所　計2カ所)

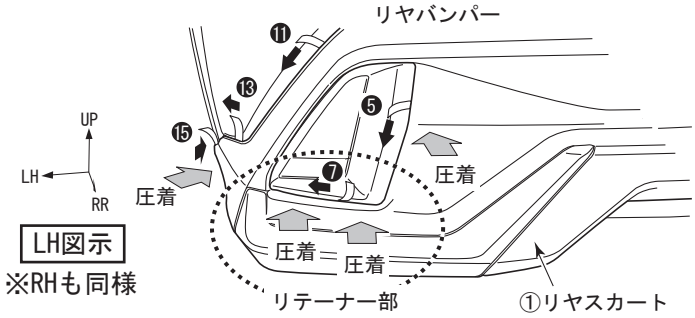
(12)取り付け

※❾～⓬ 部の離型紙を抜き取る際、エンドモールをリヤバンパーへ軽く突きあてながらスキがあかないよう離型紙を抜き取って下さい。
またその際、離型紙を強く引張りすぎてエンドモールが剥がれない様に注意して下さい。





LH図示
※RHも同様



LH図示
※RHも同様

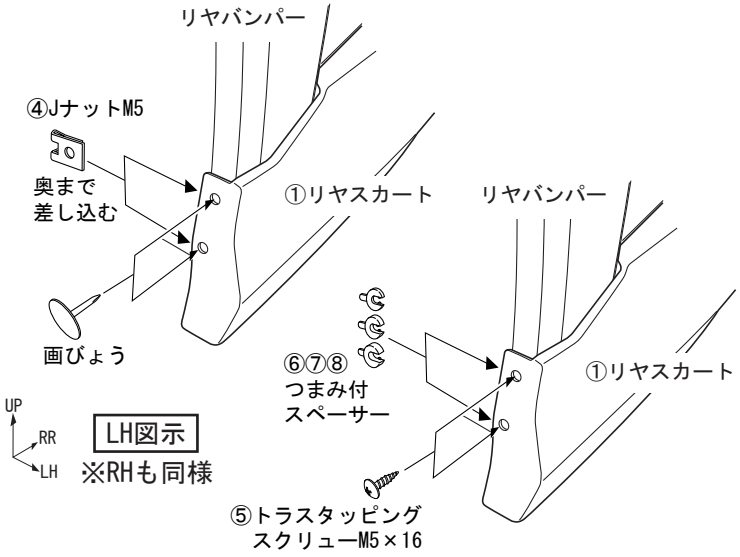
1. 両面テープ離型紙を図示❶～⓰の順に引き抜きながら圧着する。

アドバイス
・両面テープの圧着力は49N(5kgf)以上で行なって下さい。

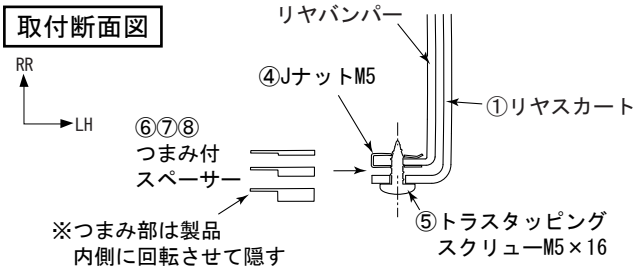
重要
2. 浮き、剥がれ、傷等が無い事を確認し、**再圧着**する。
3. 全てのマスキングテープを剥がす。

(13)取り付け

ホイールハウス部詳細図



取付断面図

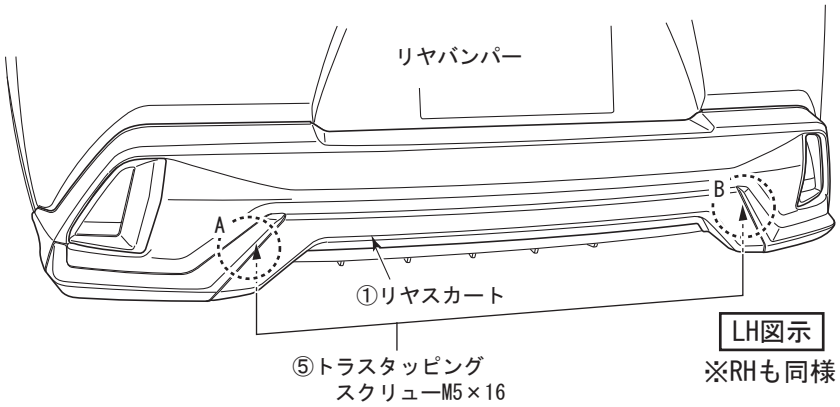


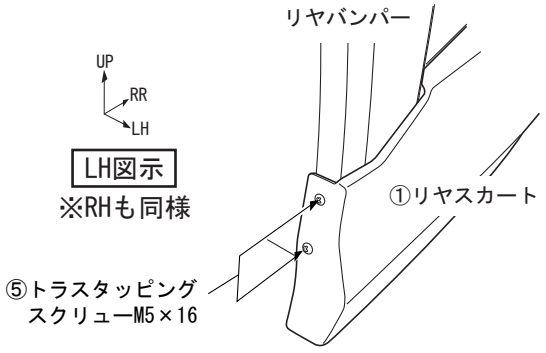
1. ①リヤスカートホイールハウスの穴位置に合わせて、リヤバンパーに④JナットM5を取り付ける。　（左右各2カ所　計4カ所）
2. 図示部の穴位置中心に、ケガキ針又は画びょう等で下穴をあける。
（左右各2カ所　計4カ所）
3. ⑤トラスタッピングスクリューM5×16で仮固定する。
その際、①リヤスカートとリヤバンパーとの間に隙間がある場合は、適切な厚みのつまみ付スペーサーを入れる。
（左右各2カ所　計4カ所）
4. つまみ付スペーサーのつまみ部を①リヤスカート内側に回転させて隠す。
（左右各2カ所　計4カ所）

重要

隙間が大きい場合はスペーサーを重ねて入れて下さい。隙間が空いた状態で固定するとリヤスポイラーを後方に押すことになり取付部に浮き、隙間が出る可能性があります。

(14)取り付け

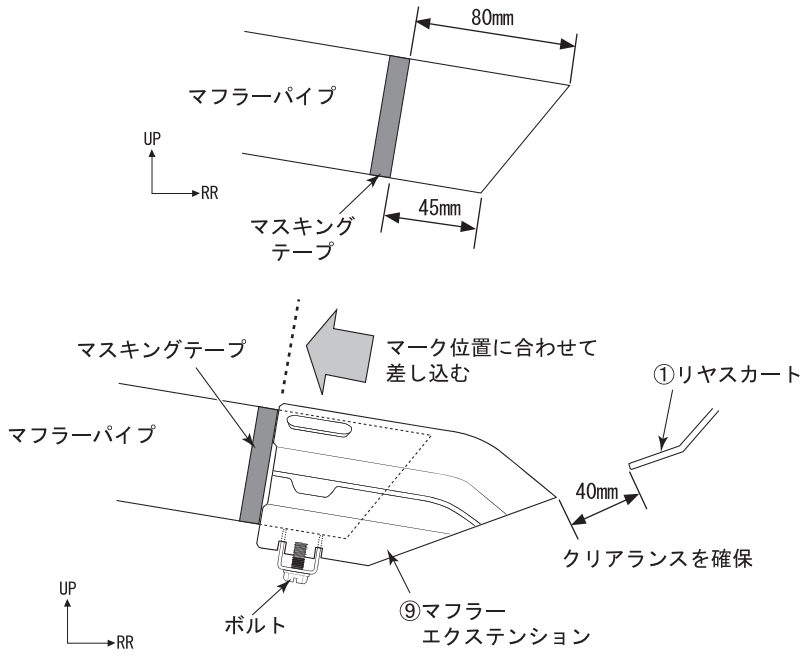




取付ビスを本締めする（6カ所）

1. 全ての両面テープ接着面を３時間後に全て**本圧着**する。
2. 全てのビスを本締めする。（6カ所）

(15)取り付け



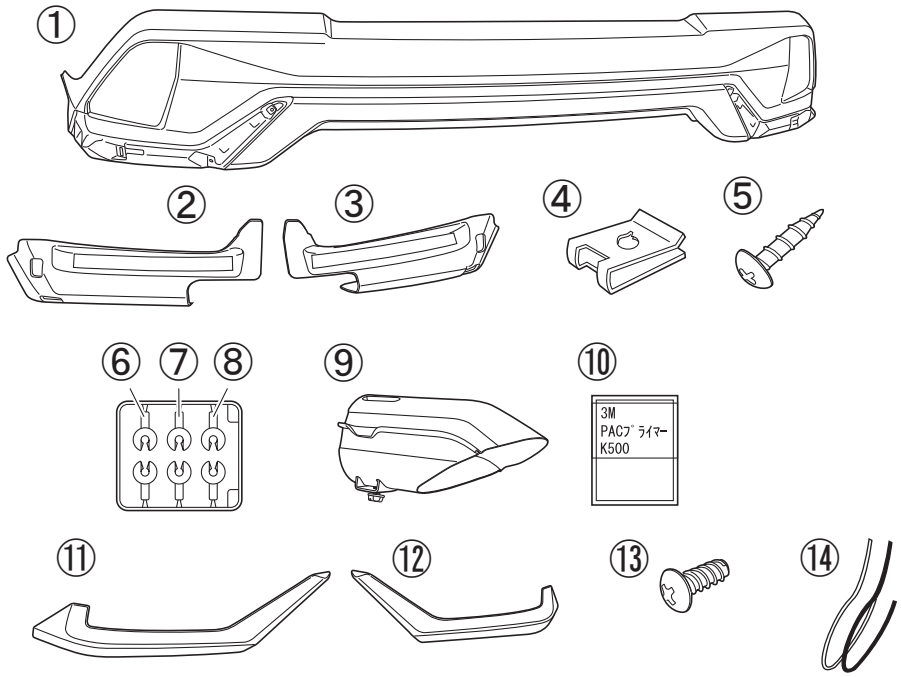
1. マフラーパイプの左図寸法位置へマスキングテープでマーキングする。
2. ⑨マフラーエクステンションをマーキング位置に合わせてマフラーパイプに差し込みリヤバンパーに干渉していないことを確認し、ボルトを仮固定する。
3. ⑨マフラーエクステンションと①リヤスカートのクリアランスが確保されていることを確認し、上下左右のバランスを考慮し、ボルトを本締めする。
4. マスキングテープを剥がす。

アドバイス

- マフラー本体は走行後は高温になっています。火傷等の恐れがあり大変危険ですので完全に冷めている事を確認してから作業を行なって下さい。
- 締め付けはトルクレンチで確実に行なって下さい（締め付けトルク：6.0N･m）

リヤスカート素地品の塗装手順

構成部品



No.	品　　名	個数
①	リヤスカート	1
②	リテーナー01:LH	1
③	リテーナー01:RH	1
④	JナットM5	6
⑤	トラスタッピングスクリューM5×16	6
⑥	つまみ付スペーサー(1mm)	4
⑦	つまみ付スペーサー(2mm)	4
⑧	つまみ付スペーサー(3mm)	4
⑨	マフラーエクステンション	1
⑩	PACプライマーK500	1
⑪	メッキパーツLH	1
⑫	メッキパーツRH	1
⑬	トラスタッピングスクリューM4×10	8
⑭	エンドモール	ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ：1 黒：1

⑭エンドモール推奨使用色

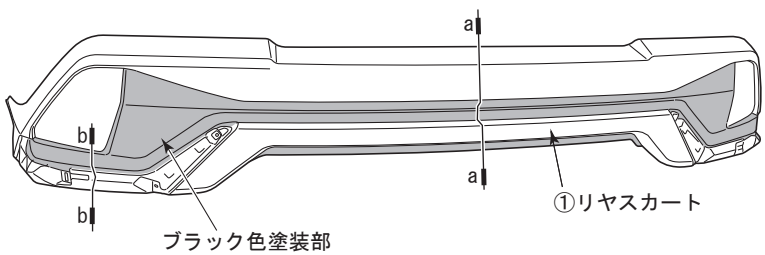
色番号	色 名 称	モール色	色番号	色 名 称	モール色	色番号	色 名 称	モール色
4Y1	ﾌﾞﾙｰｼﾞﾝｸﾞｶｰﾈﾘｱﾝｺﾝﾄﾗｽﾄﾚｲﾔﾘﾝｸﾞ	黒	085	ソニッククォーツ	ライトグレー	223	グラファイトブラックガラスフレーク	黒
4Y5	ソニックカッパー	黒	1H9	マーキュリーグレーマイカ	黒	3T2	マダーレッド	黒
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	黒	1J4	プラチナムシルバーメタリック	黒	4X2	アンバークリスタルシャイン	黒
8Y6	セレスティアルブルーガラスフレーク	黒	1J7	ソニックチタニウム	黒	8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	黒
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー	212	ブラック	黒	1L1	ソニッククロム	黒
						1L2	ソニックイリジウム	黒

(1)塗装作業

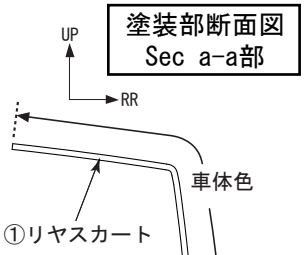
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。

アドバイス
- 脱脂は手早く行ない、十分溶剤を揮発させてから次の作業を行なって下さい。
- もし、ペーパー等で素材を研摩する場合は、必ずペーパーの番手を＃600以上で完了して下さい。

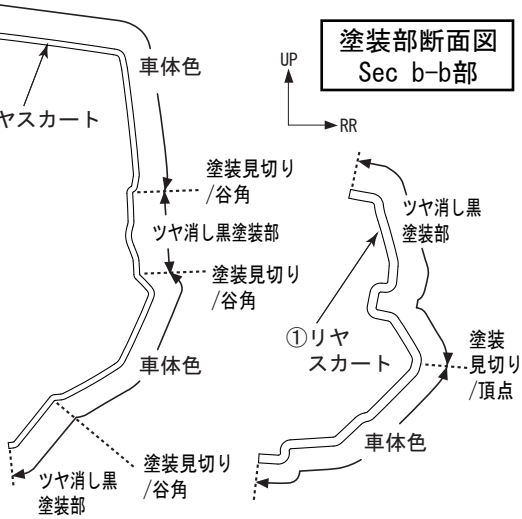
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. 上塗り塗装を行なう。**(本品の材質はABSです。)**
   注記：上塗り用の塗料は**ウレタン系**をご使用下さい。
4. 図示部をブラックに塗装する際は、図示要領でマスキングする。
   ※ブラック塗装はツヤ消し黒で塗装して下さい。
5. 乾燥
   注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、
   必ず**60℃以下**で乾燥させて下さい。



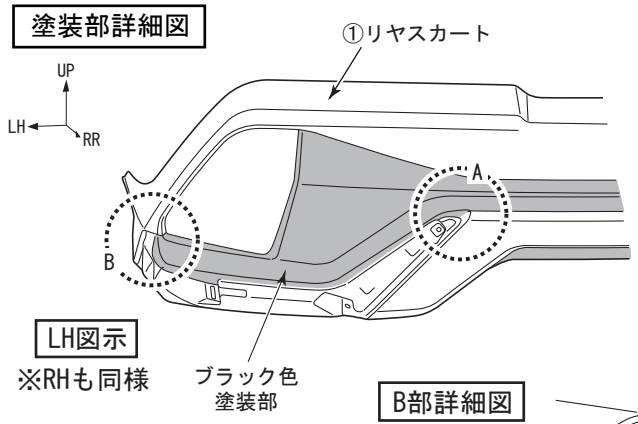
塗装部断面図
Sec a-a部



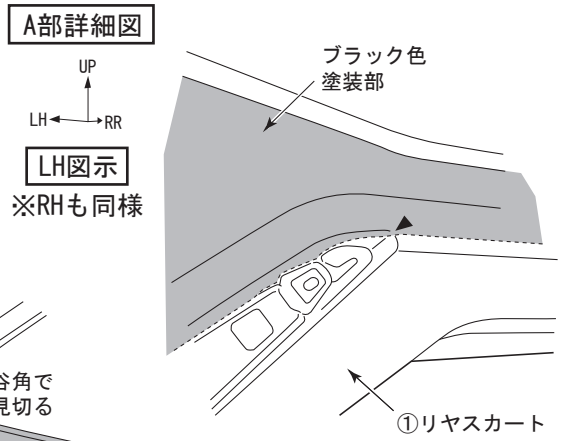
塗装部断面図
Sec b-b部



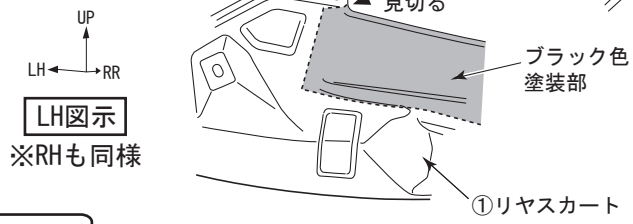
塗装部詳細図



A部詳細図



B部詳細図



(2) エンドモールの貼り付け作業

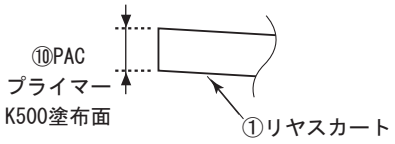
1. 塗装終了後、⑭エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑩PACプライマーK500を塗布する。

アドバイス

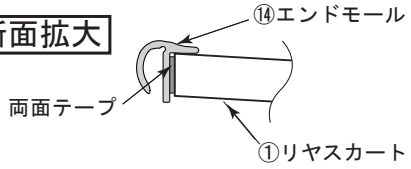
- ⑩PACプライマーK500は特に**白色塗装面を黄変**させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑩PACプライマーK500塗布後は、**常温で10分間以上**放置し乾燥させて下さい。

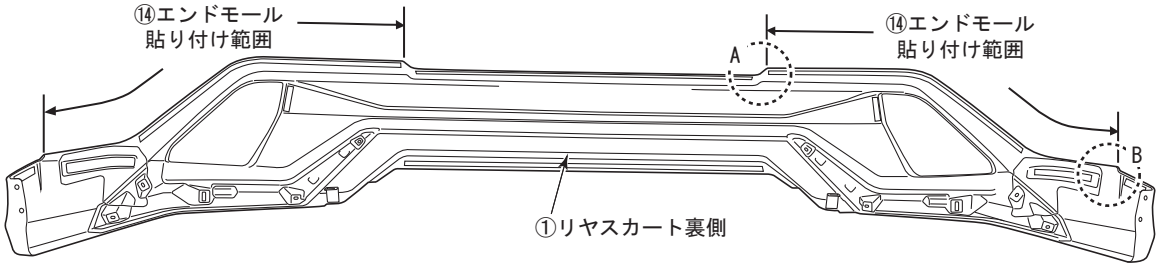
2. 下図の要領で⑭エンドモールを貼り付ける。

一般断面拡大

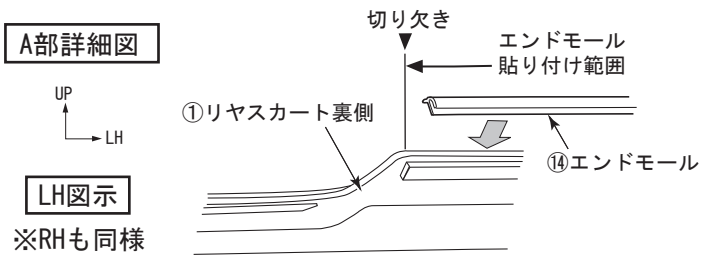


一般断面拡大

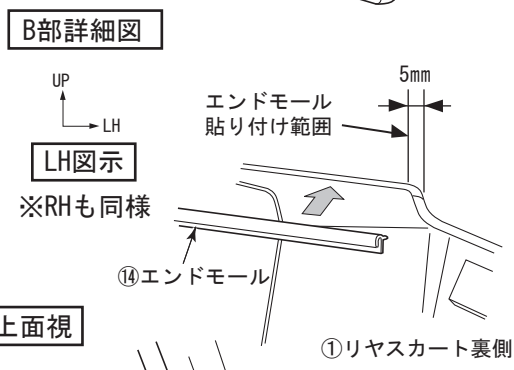




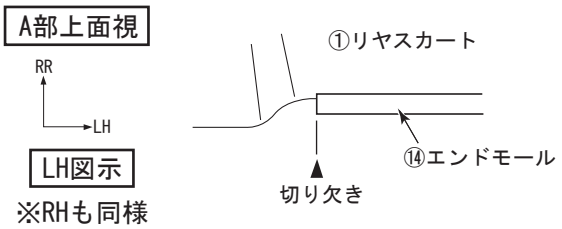
A部詳細図



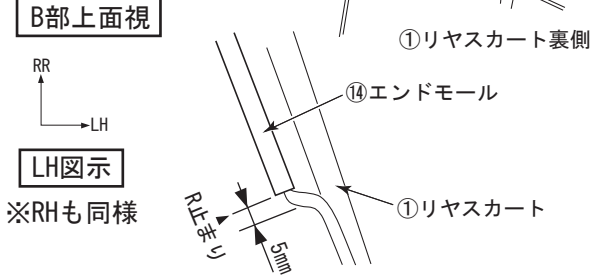
B部詳細図



A部上面視

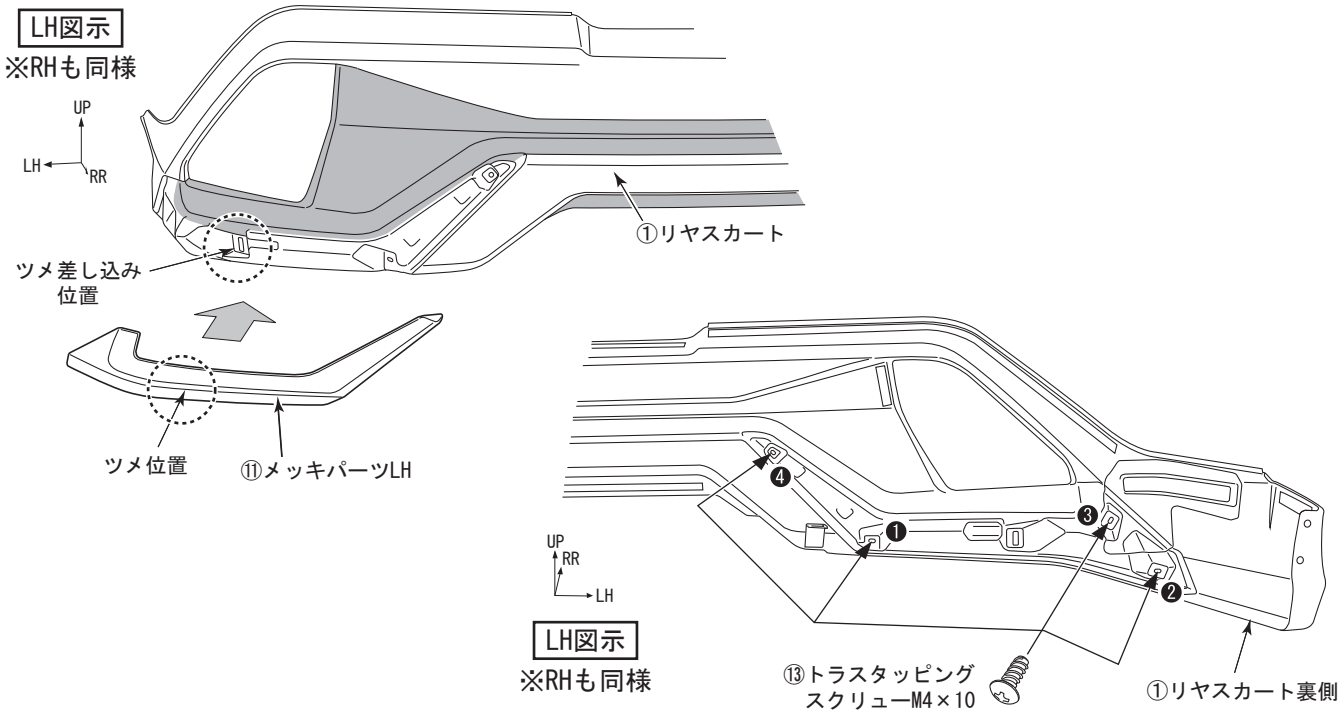


B部上面視



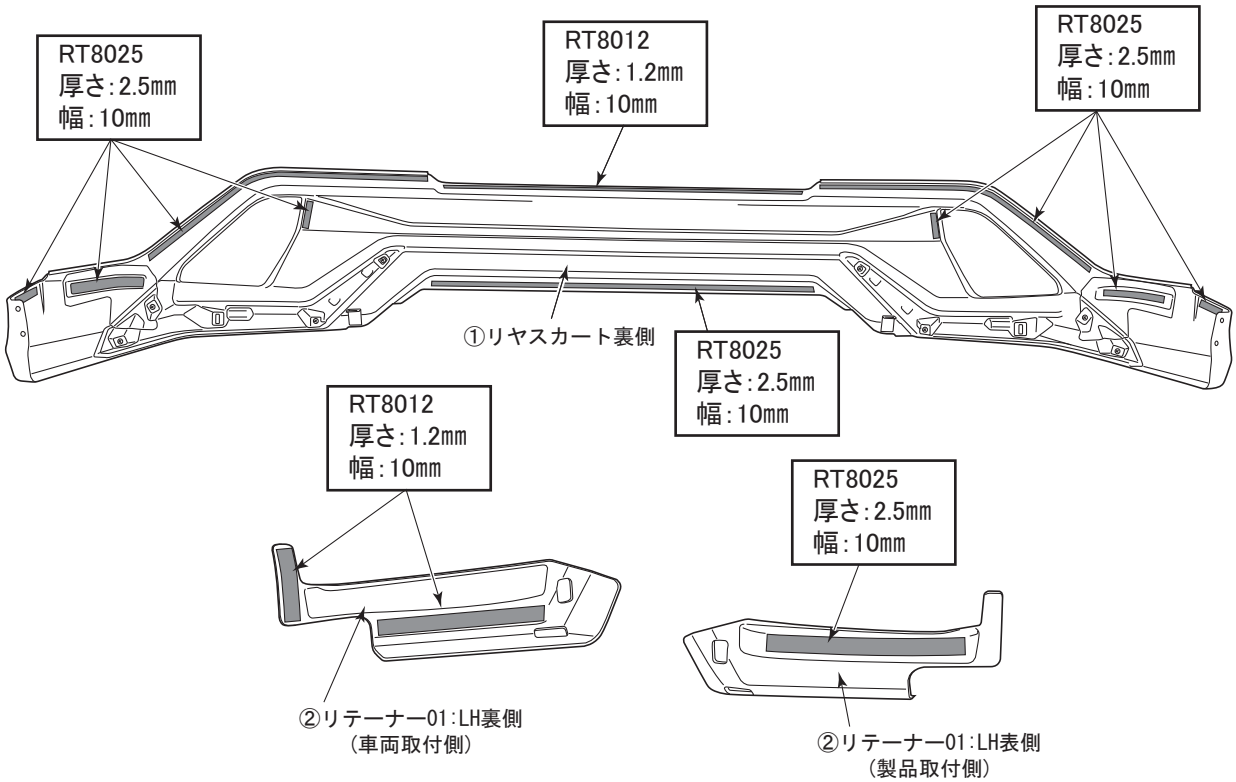
(3) メッキパーツの取り付け作業

1. ①リヤスカートへ⑪メッキパーツLHをあてがい、ツメを差し込み仮固定する。
2. ①リヤスカート裏側から⑬トラスタッピングスクリューM4×10で❶～❹の順に固定する。
（4カ所）



参 考

1. 補修キット(品番:D2649-58810,MSD80-76H03)を使用してリヤスカートの取り付けを行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し、貼り付けて下さい。



株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
https://www.modellista.co.jp
「お問合せ先」
モデリスタコールセンター　TEL 050-3161-1000

脱脂作業要領書

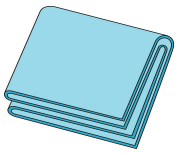
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

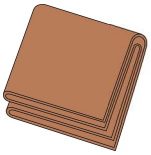
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

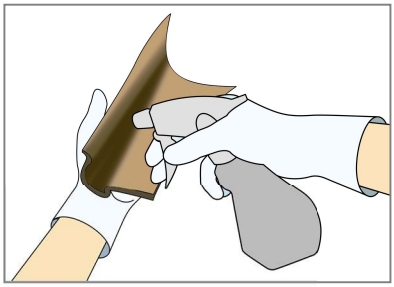

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

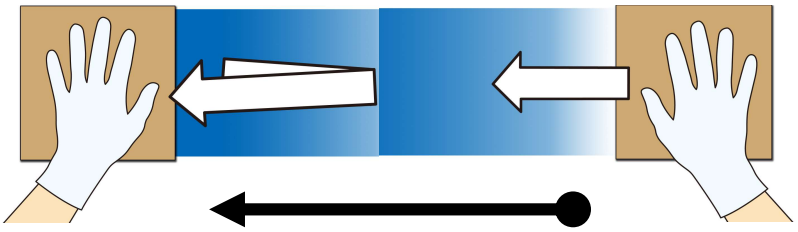


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

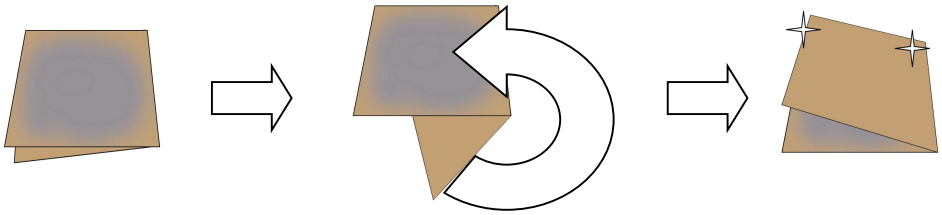
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。